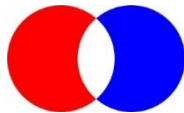


朱色



紺青

目次

事務局通信 1  
事務局通信 2  
事務局通信 3  
事務局通信 4

統括幹事：後藤和晃

## 事務局通信

사무국 통신

事務局統括幹事 後藤和晃

### 1. “良き隣人として共に歩むために”で意義ある対話 ～日韓国交正常化 50 周年記念行事～

この 7 月 11 日（土）名古屋国際センターの 5 階ホールで日韓親善協会と愛知民団の主催で、日韓の国交正常化 50 周年を記念して講演とパネルディスカッションが行われました。

この日は、日本人と韓国人が「互いに良き隣人として共に歩むためには、これから何をどうすれば良いか？」をテーマに対話するとあって 100 人を超える人たちが名古屋国際センターの大会議室に集まりました。

冒頭、韓国社会に高い見識を持つ京都大学教授の小倉紀蔵さんが基調講演を行いました。小倉さんは「現代社会の基本にある“市民”とか“民主主義”という言葉の持つ概念が日本と韓国で大きく異なっていることも対話のすれ違いの要因」「日韓の知性派も、一般大衆も、実は相手の国民の真実を知らないまま嫌韓、反日の波に流されている」などと分析した後、次のような見方も示しました。

「厳しく言えば、韓国側には 2 つ求めたい。1 つは、韓国のマスコミが反日記事を売り物にする“反日フレーム”を止めることだ。もう 1 つは韓国政府が慰安婦問題などで、日本政府と対話路線に入ることだ。そうすれば状況が改善されるかもしれない」と。



小倉紀蔵氏



会場風景

その後の第2部では、日本人と韓国人それぞれの若い世代が壇上に上がり、「日韓の相互理解をどう進めたらよいか？」をテーマに率直に意見を述べ合いました。

司会(小倉紀蔵氏)を除くパネラー5人のうち、3人は私たちの会が推薦した人たちでした。1人目は会の顧問で大宇名古屋支店のチームリーダーである李尚勲さん、2人目は会の学生代表で名大の大学院生 鈴木健介君、そして3人目は会の活動に協力的な中日新聞岐阜支社の記者木下大資さんです。あとの2人は愛知民団青年部の副会長で女性の朴未羅さんと愛知大学に留学中の宋聖圭君でした。

パネルディスカッションでは様々な見解が述べられましたが、「これからの日韓相互の風通しを、よくしていくためには次代を荷う若い世代が、直接顔を合わせ対話、交流し、相互の理解を着実に深めていくことが必要」との意見が強く打ち出され、客席から大きな拍手が飛んでいました。

また在日の女性朴未羅さんが「これまで在日は日本人と韓国人の双方から、ほとんど無視されるような存在ではなかったでしょうか？私は本国の人達からも日本の皆さん達からも在日韓国人という存在をきちんと認識してもらえるようにして行きたい！」と述べたのにも盛大な拍手が湧いていました。

今回のように日本人、在日、留学生、ニューカマーの商社員など日韓の様々な立場の若者が一同に会して大きなテーマをめぐって討論したことは、これまでに、ほとんど例がなく、参加者たちからは、素晴らしい試みだったと好評でした。

なお、パネルディスカッション終了後には、第3部として名古屋韓国総領事館の心尽くしの、日韓人懇親会が開かれ、参加者たちが韓国料理を味わいつつ、今後の交流や協力のあり方について真剣に情報を交換していました。



李尚勲氏

鈴木健介氏

木下大資氏

留学生代表

在日代表

## 2. 残念！今夏の大邱学生交流団の招致は延期に！ ～韓国Merz, 今も警戒中のため～

前の会報74号で、4月10日(金)に韓国大邱(テグ)市で戦前“大邱農民の恩人”と称えられていた水崎林太郎翁の追慕祭が、現地の若い世代が中心となって、盛大に行われたことを、お伝えしました。

同時に、日本人への友情の心を持ち続けている大邱市から、この夏は学生交流団を迎え、奈良1泊旅行や3泊4日のホームステイをプレゼントしたいとして、会員の皆さんに寄付のお願いをしました。すると74号の記事で大邱市民の動きに共感された会員や協力者の皆さんから、奈良旅行を十分実現できるほどの寄金が続々送られてきました。

事務局一同、有り難さで胸のつまる思いをしています。



慶北大学 キャンパス

ところが「好事、魔多し」という事態に至っています。

5月以降、韓国で中東発の死亡率の高い伝染病M e r zが流行し、7月中旬に至っても、未だにその流行が終息したとの情報が届いていません。

事務局メンバーの会議でも、万一、たった一人の保菌者でも交流団に入っていたら大変なことになるかも知れないとの懸念が示されました。

大邱学生交流団を招致する予定では、一行は当会のメンバーと共にバスで奈良旅行に向かい法隆寺、東大寺等々で高僧や多くの人々と接触、ユースホステルにも泊まります。多彩な場所を訪問、人々と交流することになります。

このように学生交流団が複雑なスケジュールの中で、老若男女、様々な人たちと接触する交流の旅では、万が一の危険を冒すことはできません。大邱学生交流団を引率して来られる予定だった慶北大学の朴天秀教授も「私もM e r zの流行がどうなるか心配していました。こんな状態では延期もやむおえないでしょう」と言っています。

温かい配慮で、寄付金をお送り頂いた皆さんはじめ、大邱の大学生との交流を楽しみにしておいでの方々の会員の皆様などには、交流団の招致の時期を先に延ばすことを是非、是非、ご理解いただきますようお願いいたします。

### 大邱学生交流団への寄付を頂いた皆さん

私たちの会では寄付を頂いた皆さん一人一人に領収書を送る代わりに会報紙上に一括して紹介させて頂いています。掲載の順はご寄付の到着順となっています。万が一、お名前を漏らしていたり、寄付金の額を間違えている場合は、次号にてお詫びの上、再掲しますので事務局まで、ご連絡願います。

				単位：円			
長沼士郎	3,000	匿名希望	100,000	長澤 進	10,000	大田道子	3,000
塚澤一生	5,000	藤城さとし	5,000	安田 守	5,000	佐藤昭子	5,000
石田樹梨	3,000	大久保孝造	10,000	成田鋼一	10,000	山田あき子	5,000
伊藤廣枝	3,000	松尾博雄	5,000	後藤和晃	10,000	森田邦春	2,000
山本玲子	5,000	加藤和彦	10,000	井上辰郎	9,000	中村裕子	3,000
加藤 勝	3,000	大嶋 明	5,000	田口良浩	5,000	松本太郎	10,000
匿名希望	3,000	石田洋子	4,000	伊藤義郎	5,000	槇 栄子	10,000
三尾和廣	3,000	井上靖代	2,000	井ノ口俊子	3,000		

### 3. ワールド・コラボ・フェスタ 2015 にブース出展も！

#### ～10/24・25 オアシス21～

この10月24日(土)と25日(日)の2日間、名古屋市栄のNHK名古屋横のオアシス21広場で、東海地方の国際交流団体が大集合して、一般市民に国際交流や多文化共生に係わる展示やパフォーマンスを展開します。

主催するのは県の国際交流協会や名古屋国際センターなどからなるワールド・コラボ・フェスタ実行委員会です。

このフェスタが始まったのは2004年からで、私たちの団体も、この時はブース1区画を借りて、会の活動内容を展示する一方、訪問客に日韓交流への参加を呼びかけました。

あの時、以来11年ぶりですが、日韓交流正常化50周年にあたる今年は、再びフェスタにブース出展を行ないフェスタに訪れた人たちに日韓交流への理解と参加を呼びかけたいと考えます。

ブース出展の希望は、すでにフェスタの事務局に文書で申し込んでありますが、ブースの数に限りがあるため、7月末に実施される公開抽選で出展グループに当選しなくてはなりません。

今の段階では「ワールド・コラボ・フェスタにブース出展します！」と断言できる状態ではありませんが、出展許可が下りたら何らかの方法で、ご連絡しますので、ぜひオアシス21までお出かけ下さい。

もし出店が実現したら、華やかな韓服で飾った会員たちが韓国語会話に応じたり、韓国に係わる様々な質問に答えたり・・・するのも面白いかな！？と考えている所です。



## ワールド・コラボ・フェスタ 2015 とは？

### 開催日

平成 27 年 10 月 24 日 (土)・25 日 (日) 10:00~18:00

### 開催場所

オアシス 21「銀河の広場」

### 開催内容

NGO・NPO、企業、行政、主催者などによる国際交流・国際協力・多文化共生などの多種多様なテーマでステージやブース展示を行います。

### 主催

ワールド・コラボ・フェスタ実行委員会

#### 【構成団体】

(公財)名古屋国際センター、(公財)愛知県国際交流協会

(独)JICA 中部、なごや国際交流団体協議会



## 4. 芸術家の新しい友人ができました。！ ペ サンスンさん

衰 相 順 ペ サン スン

1997 成均館大学美術教育学科卒業、ソウル、韓国  
 2002 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻卒業、東京  
 2003 ロイヤル・カレッジ・オブ・アート ロンドン、イギリス (交換留学生)  
 2008 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程 油画領域 満期退学  
 京都

個 展

2013 「折れた結び目」 Gallery Dam、ソウル、韓国  
 2013 「線のエコー」ウソン美術館、韓国  
 2011 「ゴルディアスの結び目」イムラアートギャラリー、東京  
 2010 「関係のメタファー」 Gallery Dam、ソウル、韓国  
 2009 「関係の形-結び目」イムラアートギャラリー、京都  
 2009 「黒と白」Shinsegea ギャラリー、釜山、光州、韓国  
 2008 「ペサンスン個展」 Gallery Yemac、ソウル、韓国  
 2007 「ペサンスン個展」 Gallery NW、ソウル、韓国  
 2007 「静中動 動中静」 Sferra Exhibition、京都  
 2006 「ペサンスン個展」 Gallery 3A、京都  
 2004 「主白の絵画」 INAX Gallery 2、東京  
 2004 「重層の時間」 Gallery LA FENICHE、大阪

グ ル ー プ 展

2013 「Dividing Line - Connecting Line」  
 ペ・サンスン&マイケル・ウィッテル、瑞雲庵、京都



辻醇氏

ペ サンスンさん

会報 74 号で私たちの会と大田との絆を報告しましたがネットで会報を読んだ韓国女性との新しい絆がうまれました。彼女は韓国光州出身で京都在住の中堅美術作家(成均館大=京都美大)で大田の文化財団からの依頼で大田の発展史を美術作品で表現するという難題に取り組んでいます。7月10日には江南で幼少期を大田で過ごした辻醇さんに往時の大田について聞き取りをし、明治村も見学されました。辻さんとぺさんのツーショットとぺさんの作品を載せておきます。



編集 応援 (非会員) 中川修介